

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672700145
法人名	有限会社 ひまわり苑
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県南九州市川辺町上山田4239番地5 (電話) 0993-58-9038
自己評価作成日	平成26年3月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・近所の入居者様のご家族の畑があり、散歩がてら野菜の収穫ができる。敷地内の畑からも、無農薬野菜が取れる。豊富な野菜と新鮮な魚も使用し、栄養バランスのとれた食事が提供できる。
- ・食事が美味しいと、入居者様が、ご家族や病院などで話している。
- ・桜の木をホーム近くに移植しているが、今後、木の本数を増やし、みんなで花を楽しむ環境づくりを行っている。
- ・極力コミュニケーションを図るために、フロアでみんなの集まる時間帯を長く設け、家庭的な雰囲気を作っている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・自然に囲まれた事業所の佇まいが周囲によく溶け込んでおり、周囲には畑地が多く民家が点在している。散歩や買い物の際には挨拶や会話を楽しんだり、地域住民ともふれあいながら生活している。
- ・事業所の玄関の施錠は昼間はオープンになっており、近隣の住民も気軽に立ち寄り、野菜などの差し入れがある。
- ・町内会に加入し、地域行事や小学校の運動会などに参加したり、事業所のクリスマス会などの行事に地域住民が参加し、認知症の相談にも対応するなど日常的に交流している。中学生の職場体験や一般ボランティアの受け入れなども行っている。
- ・食事は旬の野菜や捕れたての魚貝類を食材にして、利用者の楽しみになっている。
- ・災害対策として定期的な訓練と安全対策の整備もされ、具体的な改善については運営推進会議での助言を尊重し活かしている。
- ・管理者は、職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員はチームワーク良くケア対応等の更なる向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者を尊重した内容の地域とのつながりを大切にした理念になっている。申し送りの時、皆で唱和し、共通認識を深めている。	地域との関連性を踏まえた理念は、玄関やホールに掲示し、パンフレットにも載せている。申し送り時に唱和し、職員会議等で確認し、ケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の運動会や、太鼓踊りの見学などに出かけ、地域の人と触れ合ったり、近所の方が野菜などを持って訪問していただき、お茶を一緒に飲んで交流を図っている。回覧板で情報を共有し、災害時の協力をお願いしている。	町内会に加入し地域の行事に積極的に参加して、地域との交流を行っている。散歩の際に地域住民と挨拶や会話を交わしたり、地域住民が気軽に立ち寄って野菜などの差し入れがある。ボランティアの受け入れや地域からの認知症相談にも対処するなど交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	介護についての相談を受けることがあり、認知症のことや介護サービスのことなど話をすることがある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の状況やサービスの実際についての報告や説明を行っている。避難訓練や救急蘇生法と一緒に学び、意見を貰っている。入居者様が参加に意欲を見せることが増えた。	会議は定期的開催している。事業所の行事報告や利用者の状況・外部評価結果報告等がなされ、会議に合わせて避難訓練や救急蘇生法などを並行して実施している。委員から避難訓練を実施しての助言があり、ケアの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者が運営推進会議に毎回出席してくれたり、メールで文書のやり取りをするようになって、相談しやすく、連携もとりやすくなっている。協力も得られている。	市担当者とは、利用者の状況報告や困難事例の相談を行い、情報やアドバイスを得ている。運営推進会議を通して実情を身近に伝え、協力関係ができている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修を実施し、禁止となる行為を理解できるようにしている。玄関も夜間施錠しかしておらず、「緊急やむを得ない場合。」もなかったことから、身体拘束は行っていない。	身体拘束に関する研修や事例検討を行い、身体拘束をしないケアを実践している。外部研修会にも積極的に参加し研修報告を行っている。昼間は玄関の施錠をせずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。言葉づかいにも特に配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と合わせて研修を行っている。思わぬことで、入居者様を傷つけないよう、スタッフ相互で、注意をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業は実際に利用している入居者様があり、協力体制が取れている。成年後見人制度については、管理者・計画作成担当者は外部研修を受けていて、介護職員にも話をしている。費用も高額になることもあり、どうしても必要なケースもなく活用支援には至っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、事前に契約書等を渡し読んで頂いた上で、説明を行っている。理解納得できたか確認の上、契約や解約の署名捺印を貰っている。改定時は、文書でお知らせし、了承を貰っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。外部に第三者委員を定めている。ホームの相談担当者、外部の相談窓口を重要事項説明書に明記、説明しており、玄関にも掲示している。運営推進会議でも、ご家族様や入居者様の意見を引き出すように努めている。</p>	<p>利用者と気軽に話しあえる雰囲気作りや留意し、言動や表情から思いや要望を察するように努めている。家族とは面会時や電話・アンケートの実施・運営推進会議等で意見を聞くよい機会としている。出された意見や要望等は職員で話し合いケアに反映させている。相談窓口や意見箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の申し送りや日常の業務の中で、意見や提案を受けて、改善して実施している。</p>	<p>管理者は、申し送りやミーティング時に、職員の気づきや提案・意見を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。運営者や管理者は、常に個々の職員と気軽に話し合える環境作りに努めており、業務体制や資格取得・研修参加等、相談にのっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の状況を把握し、向上心を持てる様なシフトを考える努力をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立ててホーム内で各研修を行うと共に、外部研修に出る機会を確保できるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、研修や交流会に参加している。疑問がある時は、個々に連絡をとり、意見を聞いたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に、要望や不安なことを聞いて対応するようにしている。居宅のケアマネに事前に情報提供を頂き、性格や、思いを把握するようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に、時間をかけ、聞き取りを行っている。面会時も近況を説明するとともに、家族の不安や、相談を安心して話していただけるよう声かけしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅ケアマネから情報を頂いたり、今までの経緯や現状を聞き、本人や家族の希望を優先しつつ、他のサービス利用も含めて、必要なケアを選択出来る様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみや野菜の皮むきなどの軽作業を行ってもらい、生活の一部を担っているという実感を持ってもらえていると思う。包丁砥ぎや昔の風習について教えてもらうこともある。入居者様は、要介護者ではなく、共同生活者として実感している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ゆっくり面会が出来る場面作りに努めている面会の際や電話で本人様の状況や思いを伝え、ご家族様とともに本人様を支えていけるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友人・知人や近隣住民の訪問を気軽に受け入れて、馴染みの関係の継続に努めている。ご家族様が付き添えない場合などは、墓参りも支援している。	本人の馴染みの人や場所をフェイスシートやプランに記録して把握し、これまでの習慣を大切にしている。墓参りや自宅訪問へ出かけたり、馴染みの友人や知人の来訪の際には、居室を開放して継続的關係が途切れないよう働きかけている。行きつけの買い物店との交流も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	作業やレクを通して気持ちを共有し、一緒に暮らしていく仲間であると認識できるように支援に努めている。個人の能力や価値観の差がトラブルを生じることもあり、理解を求めたり、能力差を感じさせないようフォローに努めているが、難しい。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要があれば、相談に乗ったり、経過をフォローしたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時は、ご家族様や本人様から、意向や希望を聞いている。改まって尋ねても、本音が出てこないことが多いので、日常生活の中での会話や行動の観察から検討したり、面会時にご家族様から聞いて頂いたりしている。ご家族様にも、面会時に近況報告したときの表情や会話の中で、意向を検討している。	日々の関わりの中で表情や言葉などから意向の把握に努めている。家族からの情報を得ながら、職員も気づきを記録し、職員間で話し合い支援している。意思疎通が困難な場合は、生活歴やモニタリング・利用者の表情・言動・家族等の言葉から思いや意向を察知し、得られた情報を職員で共有して本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅のケアマネや入院している病院に情報提供をお願いしている。入居時に、家族や本人から情報を収集している。入居後も、会話の中で、どのような生活だったのか聞いて情報は悪を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、スタッフ各々が観察し、朝のミーティングの際などにすり合わせ、現状把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日常的に本人様やスタッフとの意見交換は行われており、ご家族様とも面会の際に意向を伺ったり、意見交換している。受診時に立会い、主治医の意見も把握できている。それらを受けて介護計画を作成している。家族の想いが、具体的に把握できなかったり、本音を引き出すことが難しい時がある。</p>	<p>本人や家族の意向を把握し、職員や主治医の意見を反映させ、個々に応じた介護計画を作成している。介護記録を基に毎月モニタリングを実施し、3ヶ月毎に見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の様子やケアの実践等を個人記録に記入し、情報を共有し、実践に生かしている。アセスメントやモニタリング・評価も個人記録を参考にしている。が、後から振り返った時に、具体性にかける記録もある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個別のニーズに合わせて柔軟に支援できるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文書している地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校からの慰問や中学生の職場実習が恒例行事となり、交流している。地域の消防団の方にも、協力を依頼している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に入居者や家族が望むかかりつけ医について話し合いを行い決定している。必要があれば家族の受診立会いを求め、協力を頂くと共に、受診結果を報告している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を事業所に対応している。定期的な受診や通院を支援し、結果はそのつど家族に報告している。また緊急時など主治医や協力医療機関との連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームに看護職員が常勤しており、日常の健康管理、医療的な部分で相談しながら、支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、介護サマリーを提出したり、入院時に立ち会って情報提供したりしている。入院中は、定期的に面会を行い、家族や看護師等から情報を受けて、状況を判断しつつ、早期退院に向けて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に対しては、事業所としては対応していない方針で、入居時に説明し、同意を貰っている。</p>	<p>重度化や終末期について、ホームが支援できる方向性を統一した指針が定められている。契約時に本人や家族に同意をもらっている。検査や治療が必要になった時は主治医や協力医療機関と連携し、その処置を受けられるように支援している。家族等や主治医、看護師と常に話し合いがなされており、職員も方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に研修を行い、マニュアルを作成し、いつでも見れるところに置いてある。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消火避難訓練を行っている。その際に、実際に災害が起きた場合の具体的な話し合いも行っている。近所の方や地域の消防分団にも、協力をお願いしている。自動通報装置・スプリンクラーも設置している。</p>	<p>年2回、消防分団の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を実施し、救命訓練もしている。防火水槽やスプリンクラー・自動通報装置が設置されている。災害時の食糧等の備蓄もある。地域住民や町内居住の職員・家族等の協力体制の話し合いがされており、安全は確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者が恥かしい思いをしないようにさりげなく接し、本人のできることを優先して、一人一人の人格を尊重している。個人情報についても、入居時に説明し、承諾を得て対応している。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。定期的に勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。日々のケアの中で利用者の誇りやプライバシーを大切に声かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意図的に開かれた質問により意見を促したり、選択できる場面を日常生活の中で設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	軽作業への参加もむりに参加してもらおうことなく、レクについても、入居者様と話し合っ決めていたりしている。一人一人のペースに合わせて生活していただけていると思う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服を自分で選んでいただいたり、話をしながら決めたりしている。気温にそぐわない時は、スタッフが助言している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を献立に反映し、郷土料理などを献立に取り入れている。野菜の下ごしらえや台拭き等、出来る範囲で一緒に行ってもらっている。お好み焼きなどテーブルでの調理を行い、五感を刺激するとともに、食事を楽しめるように工夫している。	菜園から収穫した野菜や捕れたての魚貝類を利用して、嗜好に配慮したバランスの取れた献立を作成している。利用者個々の力を活かしながら、下ごしらえや調理・盛り付け・後片づけ等を職員と一緒にしている。誕生会や季節の行事食などを作り、職員と共に食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立、食事摂取量を記録し、把握している。水分摂取量の少ない方が多いので、水分の必要性を話したり、病的に可能なら、スポーツ飲料や野菜ジュースなどを摂取して頂いたりし、脱水にならないよう気をつけている。食事量の減った方には、形状を変えたり、好きな物をプラスするなどして摂取量の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの状態に応じて、口腔ケアの習慣づけを行っている。夜間は、義歯洗浄の介助を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援に取り組んでいる。排泄の際は、羞恥心を考慮し、席をはずして見守ったりしている。自尊心の高い方には、尿失禁があっても自分で交換できるようにして後片付けをさりげなく行っている。	個々の排泄パターンを把握し、排泄チェック表に記録している。自尊心に配慮しながら、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。本人の意思を大切にしながら、トイレや夜間のポータブルトイレへの誘導に心がけて、自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録をチェックし、便秘にならないよう注意している。食物繊維のある食品や水分の摂取を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の希望を優先しながらいつでも入浴できる体制をとっており、体調の変化などで清拭に変更するようにしている。拒む場合は時間をおいて声かけする。	入浴は基本的には週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように支援している。入浴をいやがる利用者には、状況改善に努めたり、清拭やシャワー浴などで工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調や行動により、休息が取れるように配慮している。室温を調節したり、入口に暖簾をかけるなどして、安眠できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情書をケース記録に綴り、介護職員にも目を通してもらい、変更があれば申し送っている。配剤ケースを作り、入れる時、ホールへ持っていく時、配剤の時確認し、誤薬を防ぐように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	いくつかの軽作業は、道具を準備しておく、入居者様が自分たちで作業を始めている。役割意識を持っていると思う。好きなレクリエーションをリクエストしたり、昔ながらの風習を尋ねながら行事を行ったり、一人一人の力に合わせ楽しめるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や入居者様の状態を見て、日常的に散歩に出ている。墓参りに行くこともある。可能な限り支援を行っている。	日常的には、近隣の散歩や近くの公園・買い物に出かけている。年間計画を立てて小学校運動会の見物や花見などに出かけている。本人の希望で自宅周辺へのドライブの支援をしている。家族の協力も得て墓参などに行っている。車椅子の利用者の外出を行い、閉じこもらない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>所持金を家族に把握して頂き、自分で持っている方もおられる。「失くした」「盗られた」と言う事例があり、金銭の自己管理については、消極的になっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様の希望やご家族様の状況により、電話できるよう介助している。電話がかかってきた時も、子機で居室で話したりなど、ゆっくり話せるように支援している。年賀状も希望する人は書けるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝掃除し清潔を心がけている。なるべく自然に近い温度調節を行い、庭に季節の花も咲き、五感で季節感を感じられるよう配慮している。</p>	<p>庭や玄関入り口に季節の花が植えてあり、共用空間は採光に配慮されて明るく、温度や換気に調整が行き届き、清潔である。椅子も多く設置され好きな場所で過ごせるような工夫をしてある。接客の部屋もあり、神棚や季節の花々が飾られて生活感あふれる共用空間である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	和室のソファでくつろいだり、期があった入居者様と思いに過ごしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	馴染みの家具やお位牌や家族の写真飾りしている。スタッフの思う整理整頓を行うのではなく、本人様の使いやすい配置を気づかっている。	居室は和室で濡れ縁があり、落ち着いた雰囲気である。家具や位牌・家族写真など、それぞれ馴染みの物が持ち込まれている。色分けした造花を居室入口に飾り、工夫された個性的な居室である。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	廊下、トイレ、風呂など手摺がついており、安全になるべく自立した生活ができるようになっている。ベッドの高さも一人一人の筋力や立ち上がり、転落の危険性を考慮し、調整している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない